

観光・ネイチャーガイド向け 『飛騨市・広葉樹のまちづくり』講座 開催のご案内

飛騨市 商工観光部 まちづくり観光課
(事業受託者：株式会社飛騨の森でクマは踊る)

飛騨地域通訳案内士ならびに観光・ネイチャーガイドの皆様

本年度飛騨市では、観光庁補助事業の採択を受け、市域の94%を占める森林を活かした新たな滞在プログラムを開発することになりました。2014年から官民連携で進めている「広葉樹のまちづくり」の哲学を軸に、森・職人・宿が繋がる、主に欧米豪インバウンド向けの地域内完結型の滞在プログラムの開発を目指しています。

併せて飛騨市ならではの資源循環の物語や価値を、知的好奇心の高い旅行者へ多言語で深く伝えていただくため、飛騨地域でご活躍されているガイド等の皆様にも「飛騨市・広葉樹のまちづくり」がどのようなものなのかを知っていただく機会として、インバウンド観光ガイド向け「飛騨市・広葉樹のまちづくり」講座を開催します。

この講座では、実際に広葉樹の森や流通の現場を巡り、実践者の話を直接聞くフィールドワークを中心とし、普段旅行者のガイドを行う皆様の視点でその魅力を発掘し、プログラムの開発に活かしていただくことを目的としています。また、新たな飛騨地域の観光コンテンツとして、皆さまご自身のガイド活動にもつながられるよう、本講座の受講後、希望される方を対象としたフォローアップの研修も予定しておりますので、「飛騨市・広葉樹のまちづくり」の取り組みを知る機会として、ぜひご参加ください。

<< 講座の開催概要は裏面をご覧ください >>

(飛騨市・広葉樹のまちづくりとは)

飛騨市が2014年から飛騨地域の関係事業等と協働で取り組む「広葉樹の持続可能な活用」を通じて、新たな価値を創造する日本でも例のない「まちづくり」です。

(未利用材に新たな命を)

通常は安価なチップや燃料となる小径木や曲がり材、節材を、地域のプレイヤーと外部クリエイターが協働し、独創的な家具や建築内装材へと昇華。価値が低いとされていた資源が地域に新たな経済循環を生む仕組みを目指しています。

(地域内一気通貫のバリューチェーン)

伐採から製材、加工、販売までを飛騨地域内で完結。この「地域内完結型」の仕組みにより、製品がどの山から生まれたかまで特定できる高いトレーサビリティを実現しています。

(小規模・高品質の美学)

針葉樹のように効率化・大規模化を追求するのではなく、広葉樹一本一本の特徴を活かすことに主眼を置いています。「広葉樹のまちづくり」は、資源の「消費」ではなく、自然と経済が共鳴する日本の地方のあるべき姿(まちづくり)を目指しています。

(裏 面)

開催概要

対象者	飛騨地域で活動する通訳案内士、ネイチャーガイド、観光ガイドの方
開催日時	第1回：2026年8月19日（水）9:00～16:00 第2回：2026年8月26日（水）9:00～16:00 ※両日とも内容は同じです。ご都合の良い日程をいずれか1日お選びください。 ※後日、希望される方にはフォローアップ研修を実施予定です。
会場	飛騨市内（森、貯木場、製材所、木工房などを巡ります） ※詳細な集合場所等は参加決定者に別途ご案内いたします。ご自身で集合場所（飛騨市役所）までお越しいただける方に限ります。
参加費	無料
定員	各回とも15名 ※定員を超過した場合、事務局により選考させていただきます
申込方法	下記のお申込みフォームより必要事項をご入力ください。 【URL】 https://x.gd/HqdBE ※外部の google フォームに移動します。 ※上記は短縮 URL を利用しています。



留意事項

本年度飛騨市が実施する一連の事業では、「広葉樹のまちづくり」をテーマにしたこれまでにない観光商品の年度内造成を目指します。本講座は、その前段階として、ガイドの皆様へ「飛騨市・広葉樹のまちづくり」を知っていただくことを目的とするものです。従いまして、本講座への参加が新たなガイドのお仕事につながることを確約するものではありません。新たな観光商品造成に向けて様々なご意見を頂戴できますと幸いです。

お問合せ先

■本講座に関するお問い合わせ（本講座事務局）

株式会社飛騨の森でクマは踊る （担当）松山由樹 ✉pr@hidakuma.com

■事業全体に関するお問い合わせ

飛騨市役所 商工観光部 まちづくり観光課 （担当）竹田慎二 ✉takeda-shinji@city.hida.lg.jp